

第4回教育委員会定例会
平成31年2月25日
教 育 部 学 務 課

小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について

告　辞（案　小学校・卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、卒業証書を手にしている皆さんの中には、小学校生活での数々の出来事が思い起こされていることでしょう。先生方の教わを受け、友達と希えを体め命い、学びを深めた学習への取組。委員会活動やクラブ活動、学校行事など、友達と協力して成し遂げた様々な経験。皆さんは多くの人との関わりの中で、自分で考える確かな学力や、他人を思いやるやさしい心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてこられました。立派に成長した自分に、どうぞ自信と誇りをもつてください。それとともに、先生方をはじめ、職員の方々、地域の方々、そして今日の卒業の日を、誰よりも喜んでくださっているご家族の方々が、皆さんの成長を見守り、励まし続けてくれたことを忘れずにいてください。モレドゼひ、「あらがわせやう」という感謝の気持ちを体めながらださい。

保護者の皆様方におかれましては、お子様が晴れの卒業の日を迎えたれましたことを、心よりお祝い申し上げます。この六年間、お子様を温かく見守り、支え、学校を~~ご~~支援いたきましたことに感謝申し上げるとともに、今後も引き続き~~ご~~協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、立川市では、「まちを知り、まちに関わり、まちに貢献する」多様な学びを通してまちの担い手となる市民の育成を目指し、「立川市民科」の授業を市内全小・中学校で展開しています。私たちは、自分で社会や地域で暮らしているのではなく、家

族や地域とのつながりもとに、社会や地域に貢献した先人の努力によつても支えられているのです。このことを自覚し、先人の創り出した文化や偉業に尊敬と感謝の気持ちを深めることは、とても大切なことです。~~立川市民科~~の半蔵を通じて培つた、地域の文化や~~キノコ~~で暮らす人々に対する誇りと愛着を持つことは、未になつて世界の人と一緒に活躍するための基盤として、とても大切なものとです。

今年は新宿から立川の間に中央線の前身である甲武鉄道が開通して百三十年を迎えます。当時の立川駅周辺は広々とした松林や桑畠が広がつており、そこに蒸気機関車に必要な大量の水を玉川上水から引き込み、立川駅が開設されました。これは、立川に鉄道を整備したいという人々の願いを実現しようと多くの方々の努力によつて成し遂げられたのです。その後、駅周辺は賑やかになり、今では複数の路線と多摩モノレールも乗り入れて、立川は多摩の中心都市へと発展してきました。このように立川駅開設に向けて努力した先人の方々からは、郷土発展のために進んで貢献しようとする主体性や責任感を感じることができます。

皆さんは、四月から~~いよいよ~~中学生です。中学校での三年間は、更に地域や社会に飛び出し、社会のためにすすんで行動ができる力を身に付ける~~大切な時期~~です。思うように事が進まないこともあるかもしません。しかし、そんなとき~~でも~~には、街の発展のために立川駅を誘致した先人の努力に思いを寄せて、地域や社会のために自分ができることは何かをしつかり考え、学習を通して~~曲がります~~取り組む~~氣持ち~~を持も続け、自分の良さを、さらに輝かせていく努力をし、強い心の持ち主になつてください。

そして、自分と共にだけではなく、友達や周りの人たちを大切にすることを常に心に留め、「立川市民科」を通して学んだ地域を思う気持ちを胸に、より良い社会づくりに向け、生き抜く力をさらに大きく育てていくことを期待しています。

保護者の皆様方におかれましては、お子様が晴れの卒業の日を迎えたお祝い申上申上げます。この木年間、お子様を温かく見守り、支えていただきながら学校を 더욱支援いたしました。感謝申上申上げます。今後もよろしくお付き合いを賜ります。よろしくお願い申上申上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面からご支援、ご協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げ、告辞といたします。

平成三十一年三月二十五日

立川市教育委員会

告 辞（案）中学校・卒業式)

卒業生の皆さん、本日は「卒業おめでとうございます。九年間の義務教育の全課程をめでたく修了されました」と、心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に終えられ、卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。

さて、卒業生の皆さん。皆さんが大人となつて活躍している二十年後、三十年後の社会は、いったいどのような社会になつているのでしょうか。その未来は、人工知能の飛躍的な進化により、科学技術がさらに発達し、仕事の種類も大きく変化して、予測が困難な時代になると言われています。そして、このような社会の変化に対してもどのように生きていけばよいのか、大きな課題となっています。今日は卒業する皆さんへ、二つお話ししたいと思います。

一つ目は、何事も主体的に関わるということです。

二〇一八年のノーベル生理学・医学賞を受賞した日本の医学者、本庶 佑（ほんじよ たすく）さんは、受賞の会見の中で「不思議だなと思う心を大切にする。自分の目でものを見る。そして納得する。そこまで諦めない。」と述べられています。

この言葉は、~~研究者を専門とする若者に向けられた言葉です~~が、インターネットによる情報が溢れている現代社会において、情報を鵜呑みにせず、本質を問う気持ちをもつて研究に臨むといふ姿勢は、取り組みなさいという学びの姿勢を示したもののです。自分から疑問を持つて考え、情報を取

捨選択し、納得するまで取り組むという姿勢は、皆さんが今後の学習を進めていくうえで、是非生かしていただきたいと思います、

一つ目は、社会や人生をより良いものにしていこうと努力することです。皆さんが今後学習を進めていかれど、ともに参観にならなくて思ひます。皆さんは中学校卒業後も様々な学習をしていきます。そのとき、本庶さんの研究のよもに、本質にせまる学習態度を身につけていってください。

また、皆さんは、「まちを知り、まちと関わり、まちに貢献する」多様な学びを通して、まちの担い手となる市民の育成を目指し、「立川市民科」の学びに取り組んできました。

例えば、皆さんは職場体験やボランティア活動などで地域の方から学んだり、地域の行事に参加したことをして、改めて地域の良さを発見し、地域に貢献していくという気持ちが芽生えたのではないかと思います。この体験とともに、地域とともにより良く生きるにはどうしたら良いのか、自分の可能性を存分に發揮して人生をより良いものにしていくにはどうしたら良いのかを是非考えてみてください。三年の間に、地域学習を進めたり、地域の方から学んだり、ボランティア活動に取り組み、などして記憶があると思います。そのような活動の一つ一つが皆さんの視野を広げ、まちとの関わりを深めていきました。ながりました。そして、働くことへの意義を学び、自分の将来の姿を考えさせられた職場体験、仲間と協力しながら取り組んだ部活動、一つのよもやな体験を通して、それぞれの地

域の県を再発見し、主体的にまちに貢献しようとすること
を胸元しました。これら、中学校三年間、義務教育九年
間の学びを通して培つた「確かな力」をより一層社会貢
献に向け、充分に發揮してやられるものと期待しています。

卒業生の皆さん。これからは、平たんな道ばかり
ではありません。中学校三年間、義務教育九年間に学びを
通して培つた「確かな力」を活用し、何事にも主体的に関
わりながら、これから的人生やより良い社会づくりに自ら
進んで取り組んでいくことを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に終え
られ、卒業証書を手にしたお子様が「賢にがら、お事のも
ひとしおのこども育てます。誠におめでとうございます。
お子様の卒業後も学校は地域の栗として、に貢献してまし
ります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力いただ
きます。よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、これまで熱心にご指導いただきまし
た校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かいご
理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に
深く感謝申し上げるとともに、改めて卒業生の皆さん前途
を祝して告辞いたします。

平成三十一年三月二十日

立川市教育委員会

告 辞（案 小学校・入学式）

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から小学生です。小学校では勉強や運動をしたり、友達と遊んだりと、楽しいことがたくさんあります。勉強や運動を教えてくださる先生方がいらっしゃいます。たくさんのお兄さん、お姉さんたちがいます。みんな、皆さんと会える今日の日を楽しみにしていました。もしも困ったことや分からないことがあつたら、先生方やお兄さん、お姉さんたちに聞いてください。きっと優しく教えてくれます。

これから、皆さんに、素敵な小学生になつてもうらうために、三つのお願いをします。

一つ、先生や友達のお話を、しつかり聞きましょう。お話をよく聞いて、よく考えると、勉強がよく分かるようになります。~~そして、お話をした人の心が、とても温かく、優しくなります。お話を聞いて、温かい、優しい心の人~~
~~をたくさん増やしていきたいですね。~~

二つ、友達と仲良くしましょう。友達とたくさんお話をしたり、一緒に遊んだりして、みんなと仲良くなつてください。

三つ、先生や友達、お世話になる人たちに、元気な挨拶をしましよう。学校の中だけでなく、皆さんの通学を見守ってください、学校のために働いてくださる方が、学校の外にもたくさんいます。~~「ありがとうございました」の気持ちを込めて~~

大きな声で、元気に挨拶ができる小学生になつてください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学を心よりお祝い申しあげます。

日本には、春、夏、秋、冬という四季があります。子どもたちには、この日本の素晴らしい四季を、優しい、豊かな心で感じながら、学力や体力の向上を目指して主体的に学べるよう教育に取組んでまいります。また子ども達がより良い社会づくりの担い手となるために「まちを知り、まちと関わり、まちに貢献する」多様な学びを立川市民科の中で学んでいきます。

また、今年度は四月で平成が終わり五月からは新たな時代が始まります。保護者の皆様、地域の皆様、学校、教育委員会の四者が手を携えて、子どもたちが、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、身に付けた「これらの力を、存分に發揮する」ことができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人が、充実した学校生活を送れるよう、温かくご指導くださいますことをお願い申し上げ、告辞いたします。

平成三十一年四月八日

告　辞（案）中学校・入学式)

新入生の皆さん、本日は「入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から始まる中学校生活に、期待と希望に、胸を膨らませてることだと思います。

中学校の三年間は、新しい知識や技能を身に付け、豊かな人間性が育つ大切な時期です。

自分の目標をしつかりと持ち、すすんで学習や運動に取り組み、学ぶことの厳しさや楽しさを体験して、**自から考える**確かな力を付けていくください。

さて、今年の**2月24日**に小学校科学教育センターの閉講式で、**2003年**に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」を開発した的川泰宣（まとがわ やすのり）さんのご講演がありました。新入生の皆さんの中にもヤンタ一員として出席した人がいると思います。

「はやぶさ」とは、小惑星に接近して表面を観察し、サンプルを採集して地球に帰還するという、世界で初めての偉業を成し遂げた探査機です。実はこの探査機の開発には研究者たちはもとより、全国の町工場の職人の皆さんが、それぞれの技術と知恵を集めて開発したというお話をありました。最終的に成功させたのはチームとしてのまとめと熱意だということです。

皆さんもこれからの中学校生活で、初めてのことや難しいことに何度も挑戦することになるでしょう。そのときは、周りにいる友達と知恵を出し合い、「はやぶさ」のように、**チームとしての、まともな熱意で困難を乗り越えて前進していってください。**そして皆さんのが、小学校で取り組んだ立川市民科の学びを**地域貢献活動**などを通して**実践し地域貢献に生かし**よりよい社会づくりに向け、活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様の**入学**、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちにとりまして、ものの見方や考え方の広がる時期です。**特に、また、**心の発達の著しい時期であるだけに、迷ったり悩んだりする時期もあります。

家庭におけるお子様の願いや思いを受け止め、よりよい生活習慣が築かれるように、努めていた
~~だまといと思ふます。そして、学校~~とつながりを**連携**し、
子どもたちの健やかな成長のため、**学校と家庭、教育委員会、地域の四者が共に連携してまいりたい**と存じます。

学校教育への理解と**協力を**、**お願い申します。**

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、地域の皆様に対しまして、子どもたちへ深い愛情を寄せられ、よりよい校風を築いていかれますよ

う、お願い申し上げ、告辞といたします。

平成三十一年四月九日

立川市教育委員会